

2024年度 国語入試問題

(2024年2月4日実施)

座席番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

[注意]

- 試験監督者の指示があるまで、問題冊子や筆記用具に触れてはいけません。触れた場合は、不正行為とみなすことがあります。
- 試験中の使用が認められたもの以外は、すべてカバンに収納すること。使用用具は、黒芯の鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ハンドル付のものは不可）とし、それ以外の使用は認めません。
- 携帯電話、スマートフォン、イヤホン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダーなどの電子機器類は、必ず電源を切ってから、カバンに収納すること。
- 試験開始の合図により、試験を始めてください。
- 解答は、すべて「解答用紙」の所定の欄に記入すること。
- 試験終了の合図とともに直ちに筆記用具を置くこと。試験終了後に解答用紙や筆記用具に触れた場合は、不正行為とみなすことがあります。試験監督者が指示するまで、絶対に席を立ってはいけません。
- 問題冊子および解答用紙は、試験終了後にすべて回収するので、持ち帰ってはいけません。

問題Ⅰ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

デュルケムは、柳田の言うところのハレとケの代わりに(1)「聖と俗」という概念を用いている。「聖と俗とは、常にいたるところで、異なる綱、互いに何も共通点をもたない二つの世界である、と人間精神は考え」るものだと彼は主張する。双方は完全に異質で分離され、それは絶対だという。それゆえ「世界を一つはあらゆる聖なるもの、他はあらゆる俗なるものを含む二領域に区別する」のが、人間の普遍的に内在する思考パターンなのである。

さらに具体的に聖と俗の実体を説明するにあたっては、後者を「それは、毎日行われ、本質的に功利的で物質的な欲求をみだし、われわれの世俗的生活の一部をなす」ものであり、「これは労働が俗的活動の(a)ケンチヨな形態だからである」のに「反し、祭日には、宗教生活が異常な強度で現れる。したがって、これら二種類の存在間の対照はこのとき特別に著しい」と書く。

彼の考えに従えば、功利主義的個人主義から構成される労働領域が、社会全体（この場合、定住化した人類の共同体を指す）に蔓延すると、彼の言うところの社会は一種の無規制状態（アノミー）にオチイってしまう。無規制状態とは、社会の価値が混乱し、一方で個人の欲望が途方もなく肥大するような状況を指すデュルケム独特の言い回しである。そして、その無規制状態に秩序をもたらすものが、聖の機能であるというのだ。聖なるものによって、社会の個々のメンバーは集合感情をもつことが可能となる。それによって初めて、個々を集合体に統合することができるのだとデュルケムは考えた。

しかし今や周囲を見回したところで、例えば柳田が書いた共同体での盆踊りのようなイベント一つとつたところで、住民がごぞつて積極的に企画・運営し、参加するというのは希有なことになってしまった。A 岐阜県の郡上おどりや徳島県の阿波踊りなどが盛大に行われることは、よく知られている。B、観光資源として見知らぬ誰かが実行するものに、見知らぬ同士が当日のみ参加して、終われば散会するというだけのものになってしまっている。

行事がその土地の共同体を維持するための活力となり、またその行事のために共同体構成員同士が日々の日常の時間を送ろうと、絆を再確認するというように意識を共有することなど、なされなくなってしまう。そもそも共同体というものの、輪郭を認めることすら困難な状況である。人は集まれど、ほとんど烏合の衆に近い。

谷崎が『刺青』を著した1910年から19年を経た1929年、ヨーロッパでこうした烏合の衆と化した人々を、激烈に批判する書が出版される。『大衆の反逆』である。著者はスペインの思想家のオルテガ。彼の父親は高名なジャーナリストで、彼自身もまた自らの思想を体系的に構築するよりは、エッセイのような形でジャーナリズムに執筆することを好んだ。

オルテガは、「軋み合う」人々を大衆人（mass-man）と定義する。「みずからを、特別な理由によつて——よいとも悪いとも——評価しようと思せず、自分が『みんなと同じ』だと感ずることに、いっこうに苦痛を覚えず、他人と自分が同一であると感ずるかえつていい気持ちになる、そのような人々」を指す。

谷崎やオルテガが変わりゆく世界に(c)タンソクしたこの頃は、ヨーロッパで飛躍的な技術革新が起こり、それが日本にも波及した時代であった。無線電信の理論が構築され、電話そしてやがてラジオが発明される。新聞よりもいち早く、かつ広汎にニュースを報道することが可能となった。カメラの原理もうみだされ、動画が公開上映されるようになった。エンターテインメント作品の数はかぎられていないものの、ニュース映画は頻繁に製作されるようになっていった。マスコミュニケーションの誕生である。(3)その申し子こそ、大衆人(mass-man)にほかならなかった。I

事実オルテガは、大衆人を形成した要因として、民主主義と工業化、そして科学的実験の三要因を挙げている。科学が高度に発達したため、個々の研究分野が細分化し技術革新が進む反面、全体を俯瞰する哲学なき研究者の出現を彼は憂えていた。II

彼が列挙した三条件、とりわけ第三番目の条件を挙げたことの真意が20世紀初期という当時、どこまで理解されていたかは極めて不明瞭であるものの、今となつては実に卓見であったことが明らかだろう。今日まさに新型コロナウイルスに席卷されたインターネット社会は、こうした要因に(d)ホンノウ|ウ|されているからである。III

未曾有の感染症の流行を前にして、テレビ番組はもとよりネットの世界では連日、専門家と呼ばれる人々が代わる代わる登場しては、多種多様の言説を開陳したことは周知の通りであり、それは今もなお続いている。オルテガが書いたように、大衆人は「凡俗な魂が、自らを凡俗であると認めながらも、その凡俗であることの権利を大胆に主張し、それを相手かまわず押しつける」ようになっていく。IV

彼らが、専門家と呼ばれる人々によってリードされることを、オルテガが(4)『「専門主義」の野蛮性』という表現で予見していたのは、驚きというしかないだろう。オルテガによれば大衆社会においては、大学教授などの専門家は「世界の中の自分の極小部分については良く知っている」ゆえに自分ではよく知らない問題についても、権威として振る舞おうとする、という。V

「彼を専門家にするに当たって、文明は彼を自ら閉じこもり、自分の限界内で満足する人間に作り上げてしまった。しかしまさにその自律と自信の内的感覚そのものが、彼を自分の専門領域の外でも支配的地位に立ちたいという願望をもたらすのだ」

こういう専門家が、「自分の価値観を相手かまわず押しつける」大衆の頂点に立つとオルテガは書くのだが、2020年のコロナを巡る騒動を振り返る時、4月頃、このままの状態が続けば、死者が日本でも数十万単位で出現するようになり收拾がつかなくなるとか、あるいはインジンが感染防止に有効であると、自治体の長までもが(e)キンキウ記者会見を開いたエピソードは、まさにオルテガが危惧した社会の到来を示唆したものであると考えるしかないだろう。

片やインターネットの発達は、人々が存在する空間を共有し、同じ場所にいたとしても、それが互いを結びつける条件でないという状態を作り出すことに成功した。

家族が一つ同じ居間で、テレビに向き合っていたとしても、各々がスマホの画面に向き、LINEに興じていたならば、それぞれは全く異なる相手とその時、結ばれていることになる。かつて1990年代の半ば頃に「ひとつ屋根の下」という、江口洋介が主演で、きょうだいが様々な苦難を

乗り越えて共に生きていくというドラマが人気を博したことがあった。だが、ネット社会では「一つ屋根の下」でいるから経験を共有するというのは C でしかない。

同じ家屋内はともかく、同じ通勤車内、同じ学校内、会社内にいたとしても、コロナ対策は各々が互いに相手に視線を向けることを回避する状況を生みだしたように思われて仕方がない。それにはマスクを常時着用するようになったことが、深く関わっている。

やむを得ずマスクをするという意識、つまり必要悪としてのマスクという意識が、同様にやむを得ずマスクしている周囲に目をやることをためらわせるのだろう。顔の中心部にかなりの広さのブラックホールがある、という感覚によって、人の集まりは特に名前を持って認識されることのない、無名の者たちの群れと化した。

群れは、「鬼滅の刃」のアニメが人気とか、「嵐」が解散前の最後のコンサートライブをネット配信するとかの情報に接する度に、遅れてはならじと我れ先にそれに飛びつく。消費が拡大して好ましいことのように一見映るものの、他のイベントや作品は無視されてしまい、興行収入は二極化するばかりであるという。そして、しばらくの間はもてはやされたとしても、早晚忘れ去られる場合がほとんどだ。無名の群れは、やはり解体されるべきではないのか。

そのためには(5) マスクをした人というのを、それ自体で完結した存在(デフォルト)というように認識するべく、発想を転換すべきではないかと私は考える。マスクも着けている個人の自己表現の重要な要素であり、その人の人となりを判断する大事な材料であるというような雰囲気形成することが必要だろう。マスクをネガティブなものと思え続ける限りは、社会の大衆化には歯止めはかからないだろう。人々の匿名性はいや増すばかりだからである。

実のところ、マスクを着けていると相手が誰だかわからなくて苦労することがある。マスクが着け手のアイデンティティの認識に、何ら貢献していない証拠である。それどころか認識の足を引っ張っているのだ。

そうではなく大坂^(注5)なおみ選手のように、マスクを自分がメッセージを発する媒体として利用するよ
うな、そういう自分らしさの発信源として活用する、発想の転換が求められている。その上で、マスクに隠蔽された身体部位に、想像力を飛翔^{ひしやう}させる感性を持つことができたなら、そこから新たな人と人のコミュニケーションが生まれるのではないか。今までになかった形式の共同体がそこから発達する基盤が、形成されるのではと想像する次第である。

(正高^{またかの}信男 『マスクをするサル』)

(注1) デュルケーム……フランスの社会学者(一八五八〜一九一七)。

(注2) 柳田……柳田国男(一八七五〜一九六二)。日本民俗学の創始者。

(注3) 谷崎……谷崎潤一郎(一八八六〜一九六五)。日本の小説家。

(注4) イソジン……うがい薬。口中からのどにすぐれた殺菌・消毒効果がある。

(注5) 大坂なおみ……テニスプレーヤー(一九九七〜)。

問1 傍線部(a)～(e)と同じ漢字を含む語を、次の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は、

- (a) 1、(b) 2、(c) 3、(d) 4、(e) 5。

(a) ケン|チヨ

1

- ① ケンメイな判断によりピンチを逃れる。
② ケンビキヨウを使った学習に取り組む。
③ ケンジツな経営で業績を伸ばす。
④ タイキケンに突入した宇宙船の情報を得る。
⑤ 生徒会長と部活動の部長をケンムする。

(b) オチ|いつて

2

- ① カン|チヨウから美術品の説明を受ける。
② 全国大会出場が決まりカンキする。
③ 大雨の影響により道路がカンボツする。
④ この地区をカンカツする役所を調べる。
⑤ カンサンとした地を訪れる。

(c) タン|ソク

3

- ① 留学について父にタンガンする。
② 日本のタンコウの歴史を書籍で調べる。
③ 経営がハタンする危機に直面する。
④ ヘイタンな道がどこまでも続いている。
⑤ タンマツ装置を用いた授業を展開する。

(d) ホン|ロウ

4

- ① 挙式会場からヒロウエン会場へ移動する。
② ロウデンしていないか入念に点検する。
③ あちこちをホウロウしながら旅をする。
④ 砂上のロウカクゆえに説得力に欠ける。
⑤ グロウするような態度に気分を害する。

(e) キン|キユウ

5

- ① キンサでの敗退となりくやしがる。
② 収支のキンコウを保った経営をする。
③ 両国はキンミツな関係を保っている。
④ キヨウキンをひらいて語りあう。
⑤ 食パンイッキンの重さを確認する。

問2 傍線部(1)「聖と俗」について、次の各問いに答えなさい。

(i) デュルケームのいう「聖」はどのような機能をもつか。本文中の語句を用いて四十五字以内で説明しなさい。解答番号は、。

(ii) 「俗」の説明として**適当でないもの**を、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、。

- ① 日常的な出来事によって成り立つ。
- ② 世俗的活動としての労働が行われる。
- ③ 物質的な欲求の充足を求めていく。
- ④ 日々の生活のなかで繰り返し返されていく。
- ⑤ 平凡な日々の生活に活力をもたらす。

問3 空欄 ・ に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、。

- ① A 〓すなわち B 〓さらに
- ② A 〓いわゆる B 〓そして
- ③ A 〓たしかに B 〓しかも
- ④ A 〓なるほど B 〓だが
- ⑤ A 〓そのうえ B 〓しかし

問4 傍線部(2)「烏合の衆」の本文における意味として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、。

- ① あちこちであれこれと騒ぎ立てる、口やかましい群衆。
- ② 規律も統一もない、ただただ寄り集まっただけの群衆。
- ③ 感情的になり、さらに暴力的に振る舞おうとする群衆。
- ④ 他者の動きに流され、予想以上に集まってきた群衆。
- ⑤ 自分の考えなど持たず、ただ騒ぎ立てるだけの群衆。

問5 傍線部(3)「その申し子こそ、大衆人(mass-man)にはかならなかった。」とあるが、「大衆人(mass-man)」とはどのような人々か。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、10。

- ① 自己だけでなく他者に対しても否定的であり、生きていくことにむなしさを覚えている人々。
- ② 自己と他者とを同一視していくなかで、次第次第に自分らしさや個性を喪失していく人々。
- ③ 自己を特別な存在とは見なさず、不特定多数の他者に迎合していくことをよしとする人々。
- ④ 自己への評価を下すことがなく、加えてそのことに何の苦痛も覚えない極めて楽観的な人々。
- ⑤ 自己が他者と同化していることに快感を覚え、他者からの自己評価には関心を持たない人々。

問6 次の文は本文の一部である。どこに入れるのが最も適当か。本文中の I ～ V の中から一つ選びなさい。解答番号は、11。

かくして同調圧力が異様に高まり、自粛警察の出現などに至っていると解釈される。

- ⑤ V
- ④ IV
- ③ III
- ② II
- ① I

問7 傍線部(4)「『専門主義』の野蛮性」とあるが、どういうことか。その説明として最も適当なもの、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、12。

- ① 専門家が自らの専門知識が不十分であることを隠すために、あえて専門領域以外のことを話題に挙げ、発言していることとする。
- ② 専門家が自分のよく知らないような問題にも積極的に発言していくなかで人々の信頼を勝ち取り、権威を手に入れようとする。
- ③ 専門家が自己保身に走りすぎるあまり、他からの反論に対し感情的になってしまい、権威的な力によってそれを排除しようとする。
- ④ 専門家が自分の価値観にのみ固執し、他者の考えに耳を傾けなくなっていくなかで、周囲から孤立し、厭世的えんせいてきになってしまおうとすること。
- ⑤ 専門家が自らの知的優位性を過信するあまり、自らの専門領域以外の分野においても、自らの価値観を押しつけようとする。

問8 空欄 C に入る言葉として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、

13。

- ① 予想 ② 感想 ③ 幻想 ④ 奇想 ⑤ 思想

問9 傍線部(5)「マスクをした人というのを、それ自体で完結した存在(デフォルト)」というように認識する」とあるが、このような「認識」を可能にする「マスク」のありようの例として適当でないものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、14。

- ① 自分の訴えたいことがらがメッセージとして書かれている。
② 自分の都合は二の次で、周囲への配慮が常に意識されている。
③ 自分自身や自分のパートナーや子どもの似顔絵が描かれている。
④ 自分のこれまでの活動やプロフィールが全体に示されている。
⑤ 自分の好きな色やデザインをもとに自分らしく作られている。

問10 本文の内容に合致するものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、15。

- ① デュルケームは、聖なる世界の喪失により無規制状態が生まれると警鐘を鳴らした。
② 今も残る盆踊りのようなイベントが、共同体の構成員間のつながりを何とか維持している。
③ オルテガは、科学が高度に発達するなか、哲学という学問分野が停滞することを憂えた。
④ インターネットの発達は、同じ空間を共有しない人間同士の結びつきを可能にした。
⑤ マスクの常時着用によって、他者への警戒感が強くなり、人間関係がますます希薄になった。

問題Ⅱ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ロボットと共生する社会が現実となり、ヒトとは異なる身体感覚をもつ存在と接しながら育つと、子どもたちは、どのような内部モデルを形成することになるのでしょうか。今を生きている私たちがもつ対人内部モデルとは大きく変わらないままなのではないでしょうか。A、それとはずいぶん異なる、新たな内部モデルを形成することになるのでしょうか。

ロボットではありませんが、生まれたときからイヌなどのペットとともに育ち始める子どもは多くいます。しかし、そうした場合でも、養育者とイヌはかなり異なる見た目、ふるまいをします。おそらく、乳児はイヌにはイヌに対して、養育者には養育者に対して（大きくなるにつれてヒト全体に対して）、個別の内部モデルを形成していくのだと思います。B、それぞれのふるまいに対する予測に混乱は生じないのでしょう。

ヒトとは似ていない、あくまでも機械だと明示するような形や(1)インターフェイス、ふるまいをするロボットであれば、未来の子どもたちは、ヒトのものとは一線を画した新たな内部モデルを形成していく可能性が高いと思います。しかし、今後、見た目やふるまいがヒトにきわめてそっくりなロボットが開発され、生まれた時からそうしたロボットと日常を共有しながら育つと何が起ころるのでしょうか。

あくまでも私見ですが、可能性としては大きく二つあるように思います。ひとつは、ヒトとロボットの類似度が高まっていくと、両者の違いの検出がいつそう敏感に行われるようになり、その結果、対人モデルと対ロボットモデルは今後も一線を画し続けていく可能性です。もうひとつはそれとは反対に、既存の対人モデルは対ロボットモデルとしいに(2)エウゴウしていき、両者の間にある「不気味の谷」そのものが緩やかになる、あるいは消失してしまう可能性です。

(2) 前者の場合、内部モデルの予測誤差検出の閾域が(3)セバまりますから、ヒトの見た目やふるまいにいつそう過敏になることが予想されます。そうすると、子どもたちにとって日常的に経験することの少ない相手、たとえば異なる人種や文化に属する他者に対しては、身近な他者との違いがより強く感じられるようになるでしょう。多様な他者と円滑にコミュニケーションすることは、これまで以上に難しくなる（予測誤差が大きく、修正が困難になる）可能性があります。また、後者が実際に起こっていくと、ヒトがこれまでとは異なる情報処理に基づいて他者と関わる生物となる可能性も否定できないように思います。

ヒトを含む生物は、環境内の未知な対象を敏感に検出し、すばやく知覚する処理システムを獲得することで生存可能性を高めてきました。しかし、未来の子どもたちにとって、未知の対象とそうでない対象との間の境界線が曖昧になってしまったとき、こうした知覚処理システムは、もはや彼らにとって適応的な形質ではなくなってしまう恐れもあります。いずれにしても、出生直後から他者の身体を媒介とした経験を積み重ねることによって形成されるヒトの内部モデルに、A Iロボットとの共生が今後大きな影響を与えることは間違いないでしょう。

ここまで、社会的コミュニケーションが成立する要件を、A の考え方に基づいて説明してき

ました。これに加えて、もうひとつ重要な点があります。それは、相手との関係を持続したいと思う「動機」です。

逆説的ではありますが、相手に対する予測がつねに一定であり続けると、私たちの脳は、それに「飽きてしまう」という性質も持ち合わせています。言いかえると、相手とコミュニケーションを図りたい、持続したいという動機を高め、持続させるには、そのやりとりの予測が（誤差修正が可能な範囲で）適度に「ゆらぐ」必要があるのです。

何かをしようとするとき、脳は、それがもたらす価値も予測します。そしてその価値づけが高まらない限り、行動を起こす動機は高まりません。こうした価値づけのことを、神経科学の分野では「報酬」と呼んでいます。

ヒトを含む動物は、ある欲求が満たされたとき、あるいは満たされることが予測できたときに、快の感覚を活性化させます。ここでいう欲求とは、食物や体温調整といった生物学的、短期的なものから、褒められたい、愛されたいといった社会的、長期的なものまで幅広い範囲を指します。脳は、より多くの報酬を得るために報酬を予測し、それに基づいて行動選択を行います。つまり、報酬系の内部モデルが、環境への適応、学習を方向づけるのです。

社会的コミュニケーション場面において、相手から同じ反応が繰り返し行われるだけでは、関係を持続したいという動機が低下していくことはよく知られた事実です。わかりやすい例のひとつは、一時期流行したペットロボットのAIBO(注3)です。一見、子犬にとってもよく似ていてふるまいかわいいと思われましたが、AIBOの応答パターンには限界があったことからしだいに販売数は減少し、二〇〇六年には製造中止となりました（この(c)ハンセイをふまえて、よりリアルにイヌ感を高めた商品がaiboの名で売り出されています）。

先述のように、私たちは内部モデルに基づき、相手がどのようなふるまいを返してくれるかを脳内でつねに予測しながらふるまっています。その中で、予測以上の報酬が相手から得られれば（報酬予測誤差がプラスであれば）動機は高まり、予測以下の報酬しか得られなかった場合（予測誤差がマイナスであった場合）には動機は低下します。また、予測と同じ報酬が得られ続けた場合には飽きてしまいます。

この報酬予測の原理にしたがえば、ヒトがロボットとコミュニケーションする動機を高め、持続させるためには、イ、つまり、A→Bというお決まりの流れではなく、適度にゆらぐ応答を継続する必要があります。

(3) 相手を信頼しながら、コミュニケーションを持続したい、こうした円滑な関係を築く鍵は、「感情のキャッチボール」にあると思います。

一般的に感情と呼ばれるものは、大きく二つに分けられます。ひとつは、身体の内部状態の変動によってもたらされる無意識な「情動 (emotion)」(e)、もうひとつは、意識可能な「感情 (feeling)」(f)でした。前者の情動 (emotion) は、自律神経系の反応によって生じる無意識の生理的变化で、例えば(d)キョウフを感じる時には自然と心拍数が上昇し、(e)ドウコウが大きくなります。他方、後者の感情 (feeling) は、そうした生理反応が生じた原因を主観的に推定する意識的体験でした。つまり、感

情が意識にのぼるといふことは、生理反応が生じた前後の文脈から、脳がその原因を解釈した結果です。そして、後者の感情は、ヒトが独自にもつ心のはたらきでもありました。

社会的場面に話を戻すと、私たちは、相手の身体生理反応を観察し、その情動情報を前頭前野で意識的に推論し、相手の感情を読もうとします。そして、それに適したフィードバックを相手に返します。フィードバックを受けた者は、その明示的な情報によって自分の生理状態が意識化され、自分の感情に気づくのです。

(4) 感情への気づきは、生後の他者との相互作用経験なしには起こりません。思考実験ではありませんが、生まれてから誰とも接することなく育った子どもは、相手から自分の生理反応を観察され、フィードバックを受ける経験が得られないため、生理反応が生じた原因を意識的に推定して自己の感情に気づくことはできないでしょう。

では、なぜ他者との感情のキャッチボールが社会的関係を継続させるために必要かという点、報酬予測の誤差を生じさせるのが感情だからです。私たちは、相手から共感的な感情を示されれば嬉しいし(+)の予測誤差)、相手と自分の感情がミスマッチとなった場合、不安や憤りを感じます(−)の予測誤差)。しかし、後者であっても、その誤差がプラス方向に修正できた場合には報酬を得られます。逆に、どのような文脈でも相手からお決まりのフィードバックしか受けられない状態(直球のみ)が続けば報酬は得られず、関係を継続したいという動機はしだいに低下していきます。

現在開発が進んでいるAIロボットは、ヒトの生理反応を(ヒト以上に精緻に)検出し、その情報を符号化、可視化してヒトにフィードバックできるようです。しかし、それだけでは不十分です。

II これでは、報酬予測の誤差―修正というダイナミックな変化、適度な予測のゆらぎを含む持続可能なコミュニケーションは期待できないのです。

感情を主観として意識化することを可能にするのは、内受容感覚と外受容感覚の統合です。

「ドラえもん」が周囲の人に信頼され、愛されるのは、彼がお腹がすく、暑いと感じる、イライラする、といった身体内部の感覚を外受容感覚と統合させ、意識している存在だからです。

V 外受容感覚に偏った身体感覚しか持たないロボットは、見た目がどれだけヒトに近くても、三つの身体感覚をもつヒトと真の意味で信頼関係を結び、関係を継続していくことは難しいと思います。

(明和政子『ヒトの発達の謎を解く―胎児期から人類の未来まで』出題の都合上、一部中略した箇所がある。)

(注1) 不気味の谷……人型ロボットなどの様態があまりにも人間に近いとき、見る者に違和感や嫌悪感を抱かせるとされる現象。

(注2) 閾域……刺激に反応する大きさ。

(注3) AIBO……ソニーが一九九九年より販売した大型ロボット。

(注4) 三つの身体感覚……「外受容感覚(視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚)」、「自己受容感覚(筋・骨格・関節から生じる運動感覚と前庭器官により生じる平衡感覚)」、「内受容感覚(自律神経の反応を含めた身体内部の感覚)」のこと。

問1 傍線部(a)～(e)と同じ漢字を含む語を、次の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は、

- (a) 16、(b) 17、(c) 18、(d) 19、(e) 20。

(a) ユウゴウ

16

- ① 彼はキンユウ業界への就職を希望した。
② 戦国時代のブユウに優れた人物を調べる。
③ 鳥のシユウは色で判別できることが多い。
④ 彼のカンユウでこのサークルに入会した。
⑤ 彼はまだヨユウの表情をうかべている。

(b) セバまり

17

- ① 歯並びをキョウセイできれいに治す。
② キョウギに解釈する場合を考えてみる。
③ あまりの高さにゼツキョウする。
④ 施設内のサービスをキョウジユする。
⑤ 安易なダキョウをせずに話し合う。

(c) ハンセイ

18

- ① 誰もいない部屋はセイジャクに包まれている。
② 海外エンセイは彼にとって価値あるものだった。
③ 敵の猛攻撃を受けてケイセイが逆転した。
④ 三年ぶりに郷里にキセイすることができた。
⑤ ホテルからキャンセル料をセイキユウされた。

(d) キョウフ

19

- ① 気候が温暖で食べ物がホウフにある。
② 潜水艦が突然フジョウしてきた。
③ 湿疹しっしんができたのでヒフカを受診する。
④ 暑い日が続き食べ物のフハイが進む。
⑤ 人々のイフの対象となる仏像を拝む。

(e) ドウコウ

20

- ① 保険契約についてのジョウコウを読む。
② 予防接種をすることでコウタイを作る。
③ 植物のもつキコウについて調べる。
④ コウチ面積を増やす計画を立てる。
⑤ 病気がショウコウコウ状態を保っている。

問2 空欄 A・B に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを、次の中から一つ選
びなさい。解答番号は、21。

- ① AⅡあるいは BⅡですから
- ② AⅡそれでは BⅡゆえに
- ③ AⅡまたは BⅡたしかに
- ④ AⅡというのは BⅡしたがって
- ⑤ AⅡもしくは BⅡしかしながら

問3 傍線部(1)「インターフェース」の本文における意味として最も適当なものを、次の中から一つ
選びなさい。解答番号は、22。

- ① 機能
- ② 見たい目
- ③ 情報
- ④ 組織
- ⑤ 心

問4 傍線部(2)「前者の場合」とあるが、「前者の場合」のみにあてはまることの説明として適当で
ないものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、23。

- ① ヒトとロボットの異なる点の発見がさらに敏感に行われること。
- ② 対人モデルと対ロボットモデルの違いを明確にし続けること。
- ③ 他人の見た目やふるまいなどに過敏になってしまうこと。
- ④ 多様な他者とのスムーズな意思疎通が難しくなること。
- ⑤ 他者と関わることで形成される内部モデルに影響が出ること。

問5 空欄 ア に入る言葉として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、
24。

- ① 共生できるロボット
- ② ロボットとの相違
- ③ 内部モデル
- ④ 子どもたちの未来
- ⑤ 他生物との関係

問6 空欄「イ」に入る言葉として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、

25。

- ① 予測以上の報酬をもたらす応答が得られること
- ② 予測以下の報酬をもたらす応答が得られること
- ③ 予測通りの報酬をもたらす応答が得られること
- ④ 予測以上や予測通りの報酬をもたらす応答が得られること
- ⑤ 予測以下や予測通りの報酬をもたらす応答が得られること

問7 傍線部(3)「相手を信頼しながら、コミュニケーションを継続したい、こうした円滑な関係を築

く鍵は、『感情のキャッチボール』にあると思います。」とあるが、筆者は「感情のキャッチボール」について、どのようにとらえているか。その説明として最も適当なものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、26。

- ① ヒトの持っている二種類の感情のうち、相手との関係を維持したいというヒト独自の感情にかかわる。
- ② 相手がAIロボットであったとしても、コミュニケーションによって社会的関係を継続させるための感情に気づかせてくれる。
- ③ ヒトの感情に報酬予測の誤差を生じさせて、相手との関係を継続したいという動機を高める効果がある。
- ④ ヒトが社会的関係を持続させるために、自分が予想できるなかで相手からの共感的な感情を与えてくれる。
- ⑤ 相手からのお決まりのフィードバックが報酬に値するかどうかの判断を促して、社会的関係に貢献している。

問8 傍線部(4)「感情への気づきは、生後の他者との相互作用経験なしには起こりません。」とあるが、私たちが自分の感情に気づくためには、なぜ「他者との相互作用」が必要なのか。その理由を、四十五字以内で説明しなさい。解答番号は、27。

問9 次の文は本文の一部である。どこに入れるのが最も適当か。本文中の

I

V

 の中から一つ選びなさい。解答番号は、

28

。

こうしたロボットがヒトに対して行うフィードバックは、ヒトの生理反応から推定された感情信号を「鏡のように」反射し返しているにすぎません。

- ⑤

V

 ④

IV

 ③

III

 ②

II

 ①

I

問10 本文の内容に合致するものを、次の中から一つ選びなさい。解答番号は、

29

。

- ① ヒトはそれぞれの対象に対して個別の内部モデルを持っているので、ヒトによく似たロボットに対しても、対ロボットモデルですべて対応する。
- ② ヒト以外の動物は、食物や体温調整といった生物学的、短期的な欲求が満たされたときに快の感覚を活性化させるものである。
- ③ 社会的コミュニケーションの場面では、相手から同じ反応が繰り返されることによって、相手との関係を維持したいと思う感情が強化される。
- ④ 私たちの脳は一定のことに対して飽きるので、コミュニケーションの維持のためには相手が絶対に予測できないやりとりをする必要がある。
- ⑤ 「ドラえもん」が人々に受け入れられるのは、人間のように外受容感覚で感じたことを身体内部の感覚とあわせて表現している存在だからである。

国語 (20240204)

解答一覧

大問	小問	解答番号	正解
I	問 1	1	②
		2	③
		3	①
		4	⑤
		5	③
	問 2	6	記述問題
		7	⑤
	問 3	8	④
	問 4	9	②
	問 5	10	③
	問 6	11	④
	問 7	12	⑤
	問 8	13	③
	問 9	14	②
問 10	15	④	
II	問 1	16	①
		17	②
		18	④
		19	⑤
		20	③
	問 2	21	①
	問 3	22	②
	問 4	23	⑤
	問 5	24	③
	問 6	25	①
	問 7	26	③
	問 8	27	記述問題
	問 9	28	②
	問 10	29	⑤